

富山県

1. 商品名等

商品名	はらうい団子		
商品写真(イメージ等)		商品説明(コンセプト等)	
		<p>団子は小さいサイズが3,4個、串に刺さっているものが主流だが、この団子は串に刺すという概念を無くし、大きな団子のひとまとまりにした。お茶碗一杯で平均150gに対して団子は一つ60g、二つ食べても120gであり、お茶碗一杯よりも少ない量で満足感が得られる。おかず系の団子もあるため、1つ食べるだけでもより満足感が得られるように工夫した。他の団子では見たこともないユニークなデザインにこだわった。</p>	

2. 学校紹介

学校名	富山県立富山商業高等学校	電話	076-441-3438
住所	富山市庄高田 413 番地	F A X	076-441-3439
担当者	吉田 峰雄		
U R L	https://www.tomisho.tym.ed.jp/		
E-mail	tomishoko@ed.pref.toyama.jp		
<p>本校は、明治30年創立120余年が経過し、県内を中心とする産業界から信頼の厚い伝統校である。商業高校ならではの経理部、ワープロ部、珠算部なども含め、多くが全国大会へと進む強豪校として知られている。また、社会貢献活動にも力を入れており、地域に信頼され、共に歩むことができる学校をめざしている。令和4年度から学科の名称が変更になり、流通ビジネス科2学級、ビジネスマネジメント科1学級、会計ビジネス科1学級、情報ビジネス科2学級、各学年6学級による編成である。教育目標は、「自主協調」「明朗誠実」「進取敢闘」の校訓を指針として、高等普通教育および商業に関する専門教育を施し、生涯にわたって愛と正義の理想を追求するより高い人格の育成をめざしている。</p>			

3. 実施科目等

科目名	プランニング部	単位数	部活動
対象生徒	3年生(4名)	担当教員数	1名

4. 予算関係(費用)

商品開発に関する費用は協力企業(有限会社源七)が負担

5. 開発経緯等

昨今の猛暑の影響やインバウンドによるコメの需要過多、また生産者不足などで、コメの供給量が安定していない。コメが手に入りにくくなっている昨今において、お茶碗一杯に満たない量でも満足感が得られる商品を作りたいと考えた。そこで、子どもから大人まで幅広い年齢層に親しまれ、安価で手に入れやすく、満足感がある団子を使って、お米の新しい食べ方を提案することにした。

商品を開発する中で、お米の生産量を増やすことに目を向けるのではなく、どうすればいつも食べているお米の量を減らしつつ消費者のお腹を満たせるのかを考えた。米粉からできるおやつなどを調べ、子どもから大人まで幅広い年齢層に親しまれていて、満足感がありそうな団子を選んだ。

団子のネーミングについても、商品名を見てお腹がいっぱいになるイメージがわくように、富山弁でお腹がいっぱいという意味の「はらうい」に注目し、「はらうい団子」とした。

団子1個でも満足してもらえる商品にするため味付けも工夫し、「モンブラン味」「サツマイモ味」「キャラメル味」「たこ焼き味」「めんたいこマヨネーズ味」の5つを考案した。



協力企業と企画書の打合せ



新商品発表会の様子

6. 販売形態・期間

有
・
無

とやまグルメ・フードフェス 2024 に出展、販売

7. 協力者等

有
・
無

有限会社源七

8. 商標登録の有無

有
・
無

商標登録するか現在検討中

9. 今後の課題・展望等

課題…新規商品のため、生産個数と販売量の最適化が図りにくい。

展望…イベント販売を実施しながら、はらうい団子を広めていく。また、今後は定期的に販売できる場所を検討する。